

バイパスの開通により、安全で円滑な交通確保

—国道355号牛堀麻生バイパスの一部開通(潮来市牛堀～堀之内)—



【課題】

○潮来市内及び行方市内の国道355号は慢性的な交通渋滞が課題となり、抜け道として生活道路を通過する大型車両が多いなど、沿線の交通環境の改善が必要でした。

【整備効果】

●バイパスの一部開通により、県道区間への大型車両の進入を規制し、**周辺生活道路の通過交通が減少したこと**や、**歩行者と大型車両が分離されたこと**で、**安全で円滑な交通が確保**されました。

●災害時の広域避難路や支援物資等の緊急輸送道路としての機能を持つ道路になります。

通学路としての役割
(堀之内南交差点)



通過交通が減少した
県道区間の通学状況



完成図



バイパスの一部開通により、歩行者と大型車両が分離され、安全で円滑な交通を確保！

【事業概要】

- 事業箇所：潮来市 牛堀 ～行方市橋門 地内
- 事業延長： L=10.9km
H26. 10. 24 一部開通 L= 1.2km
- 道路幅員： W=12.5(25.0)m
車道 3.50m×2車線(暫定), 歩道 3.50m
- 事業期間：平成 9年度 ~
- 事業費：約115億円